

令和6年度 学校評価報告書



こどもまつり 令和6年11月30日(土)

令和7年3月
富山大学教育学部附属幼稚園

学校評価報告書 目次

I	園の概要	1
1	園の教育目標	
2	園の沿革	
3	本園の教育・研究プラン	
4	園生活の流れ	
II	本年度の評価計画	4
1	重点目標	
2	評価の指標	
3	本年度の評価について	
III	本年度の取組について	6
1	教育課程	
2	重点的な取組	
IV	本年度の取組に対する評価	7
1	保護者・教員評価 [7月]	7
	・配布用アンケート	
	・集計・考察	
	・保護者配布物	
2	保護者・教員評価 [12月]	14
	・配布用アンケート	
	・集計・考察	
	・保護者配布物	
3	学校評議員会 記録	21
	・第1回	
	・第2回	
V	次年度の課題	23
	・令和6年度 教育課程 (資料)	24

I 園の概要

1 園の教育目標

- ・子供らしく、のびやかに。いきいきとした子
- ・自分で考え、行動し、責任をもとうとする子
- ・まわりのすべてに心かよわせて生活する子

2 園の沿革

明治	20. 6	富山県尋常師範学校に、幼児保育場として付設
	34. 4	富山県師範学校附属幼稚園と改称
大正	6. 4	富山県女子師範学校附属幼稚園として、堀川村女子師範学校内に開設
昭和	20. 8	空襲により園舎焼失、不二越工場の一部を園舎にあてる
	23. 4	西田地方の師範学校体育館の一部を園舎にあてる
	24. 4	富山大学富山師範学校附属幼稚園と改称、五福の旧兵舎跡へ移転
	26. 3	富山大学教育学部附属幼稚園と改称（学級数2）
	34. 2	富山市五艘村前に園舎を新築し、移転
	44. 3	富山市五艘の現在地に鉄筋平屋建の新園舎を竣工 敷地面積 2791m ² 園歌「みどりの野原に」制定
	52. 4	教育学部に幼稚園教員養成課程新設（昭和47. 4） これに伴って3年保育開始。3歳児1学級設置（学級数3）
	52. 11	創立90周年記念式典挙行
	53. 3	園舎増築工事完成。保育室2、会議室1（2階）
	53. 4	4歳児1学級増（学級数4）
	54. 3	遊戯室拡張
	54. 4	5歳児1学級増（学級数5）
	62. 1	創立100周年記念式典挙行
平成	6. 9	職員室・保健室の改築
	10. 3	創立110周年記念モザイク壁画「ゆめのなる樹」完成
	12. 3	門のモザイク壁画「ゆめいっぱいのでら・とびだせ！どうぶつ」完成
	16. 3	北側トイレ改築
	17. 10	富山大学人間発達科学部附属幼稚園と名称を変更
	17. 11	第44回全国学校体育研究大会 平成17年度全国学校体育研究協議会 富山大会会場
	18. 6	日本生活科・総合的学習教育学会 第15回全国大会「とやま・射水大会」会場
	20. 3	遊戯室床、絵本の部屋床張り替え
	20. 10	創立120周年記念式典挙行（黒田講堂） 研究図書「こころを育む幼児教育」出版（富山大学出版会より）
	21. 11	保健室設置
	25. 3	保育室、遊戯室エアコン設置
	25. 11	県産材遊具「子どもの城」設置
	29. 8	3歳児トイレ改修
	30. 8	4歳児・5歳児トイレ改修 創立130周年記念式典挙行
	30. 12	創立130周年記念遊具「ころキューブ」完成
令和	2. 5	園舎外壁改修工事完成
	4. 4	富山大学教育学部附属幼稚園と名称を変更
	5. 2	園舎内改修工事完成

令和6年度 附属幼稚園の教育プラン

園の教育目標

- ・子供らしく、のびやかに、いきいきとした子
- ・自分で考え、行動し、責任をもとんとする子
- ・まわりのすべてに心をかよわせて生活する子

幼児にとって楽しく、職員にとって高め合える幼稚園づくり

保護者や地域から信頼される幼稚園づくり

附属としての使命

- ・研究開発
- ・教育実習生の指導

重点目標

夢中になって遊ぶ子供の育成

幼稚園評価

- ・学校評議員会開催
- ・保護者及び職員アンケートの実施
- ・ホームページの充実
- ・Google Classroomの活用
- ・園だより、学年だよりの発行

研究主題

主体的な活動を支える教師の役割（一年次）
～子供の姿を捉える～

遊びの環境構成と援助の在り方

- ・一人一人の幼児理解と教材研究
- ・教材との出会わせ方、環境の構成
- ・ものや人、自分自身との関わらせ方
- ・保育に生きる評価

子供の姿の日々の記録と見直し

- ・月案、週案、日案に基づく保育
- ・子供の姿と援助の振り返りを基にした保育カンファレンス
- ・令和6年度の教育課程の展開

研修の充実

- ・オープン保育の開催
- ・保育フォーラムの開催
- ・園内研修の一般公開
- ・写真、ビデオによる保育カンファレンス
- ・研究会議への大学教員の要請と指導助言
- ・大学教員による保育参観と指導助言
- ・文献研究
- ・研究紀要の発行

指導部会の充実

- ・全園児を全職員で温かく見守る体制づくり
- ・教職員の協力体制づくり
- ・子供の姿が話題になる職員室の雰囲気づくり
- ・子供の姿を持ち寄った幼児理解研修
- ・子供の様子の共通理解
- ・SCや特支Tとの支援体制
- ・専門機関との連携

大学や附属校との連携

- ・小学校教員との互見授業
- ・小・中・特支との交流
- ・大学生による保育サポート
- ・大学教員との幼児理解研修

安全管理

- ・安全管理マニュアル作成
- ・防犯講習会の開催
- ・各種避難訓練の実施
- ・緊急連絡メールの配信
- ・引き渡し訓練の実施
- ・親子交通安全教室の開催
- ・安全点検と遊具の整備
- ・感染症の予防

保護者・地域との連携

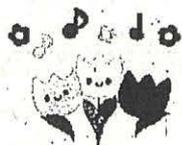
- ・降園時の情報交換
- ・連絡ノートの活用
- ・園だより・学年だよりの発行
- ・GoogleClassroomによる情報提供
- ・HPによる情報提供
- ・個別懇談会の開催
- ・親子遠足、保育参観、保育参加の開催
- ・園長トークの開催
- ・保護者主催事業の開催
- ・地域老人クラブとの交流

4 園生活の流れ

幼児期の子供にとっての遊びとは、主体的に遊ぶ中で心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である。そのため、子供たちが遊び込む時間と場を保障することが必要である。

本園では下図のように「好きな遊びの時間」と「みんなと一緒にの時間」を設定している。「好きな遊びの時間」では、遊ぶ場所も遊び方も自由である。保育者は、子供たちの遊びが深まり、その時期に必要な体験をすることができるような援助に努めている。また、「みんなと一緒にの時間」には、クラス単位、または、学年単位でルールのある遊びをしたり、製作活動をしたりしている。その中で協調性を養い、集団で過ごす楽しさを味わうことができるように意図的・計画的に保育に努めている。

(入園説明会資料より)



幼稚園の一日

◇お弁当のある日 (月、水、金)

8:40 9:00

10:30

13:30(年少)

登 園	好きな遊びの時間 みんなと一緒にの時間 (片付け、お話タイム、弁当等)	お弁当 降 園
--------	---	---------------

14:00(年中・長)

◇お弁当のない日 (火、木)

8:40 9:00

10:30

12:00(年少)

登 園	好きな遊びの時間 みんなと一緒にの時間 (片付け、おやつ、お話タイム等)	降 園
--------	--	--------

12:20(年中・長)

★年少・年中児は、幼稚園での生活時間を徐々に長くし、園の生活に慣れるようにしていきます。

幼児は、夢中になって遊ぶ中で、様々な体験を重ね、自らの世界を広げていきます。遊びには、幼児期に身に付けさせたい、また、小学校以降の生活や学習の基盤となる教育的価値が含まれています。

附属幼稚園では、「好きな遊びの時間」と「みんなと一緒にの時間」を教育課程に位置付け、一人一人の願いを捉えながら援助し、豊かな心を育むことに努めています。

II 本年度の評価計画

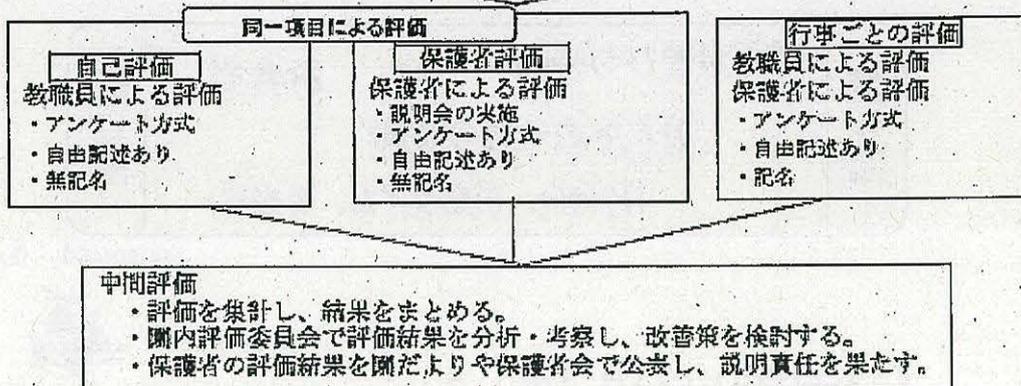
本年度においても、教員による自己評価及び、保護者アンケートを例年通り7月と12月の2回実施とする。アンケート実施前に取組について保護者にお知らせし。保護者への教育アンケートの集計結果や考察については、園だより等を通して保護者や学校評議員に公開する。また、保護者への教育アンケートの中で評価点が低かった項目や、自由記述に記載された全ての内容。学校評議員会で話題になったことについて、教職員全員で共通理解の園運営に生かせるように、教職員で考察や協議を行い改善に向けての方策を決定し、園運営に取り入れるようにする。そして、みどり会（PTA）執行部・理事に理解を求めた後、保護者へ伝達し運用していく。ただ、内容については教職員の業務削減に逆行しないものであることが優先されることとする。

本年度の重点目標

保護者に信頼されるような園運営 ～共に子供を育てるという意識の向上を目指して～

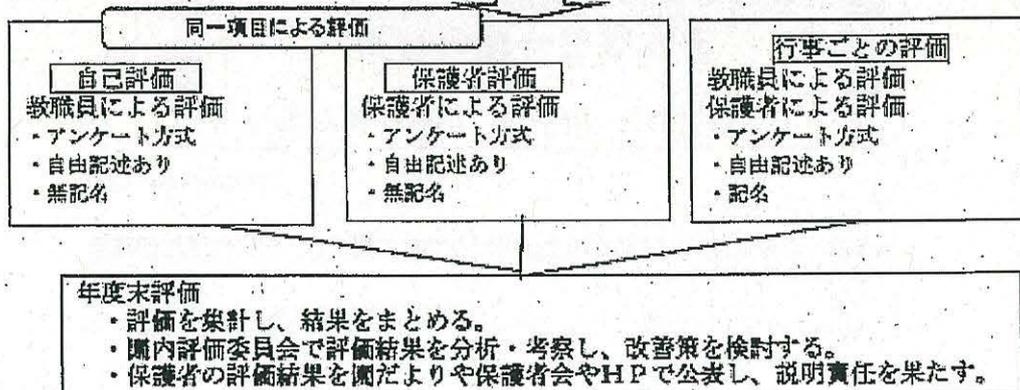
昨年度の園評価の結果を振り返り、本年度の運営目標と評価計画を立案する。

前期の園運営を推進



学校評議員に評価結果を公表し、意見を聴取する。

後期の園運営を推進



学校評議員に評価結果を公表し、意見を聴取する。

・次年度の重点目標や改善策を検討する。
 ・評価項目について検討する。

1 重点目標

これまでの取組から園の教育方針や取組に対する保護者の理解が深まってきていると考えているが、保護者の価値観も多様化しているのご理解いただけない部分もある。しかし、子供のためにという点では共通した思いであり、本年度も「共に子供を育てるという意識の向上を目指して」を重点目標の一つに掲げ、園と保護者との強力な連携の中で、園の教育目標に掲げる子供の姿を引き出すことに努めている。これらの重点目標を達成するため「Plan→Do→Check→Action」のサイクルの中で園運営を進めている。

このことについて教職員だけでなく、保護者、学校関係者を含めた広い視野から評価を行い、得られた結果や意見を適切に分析し、園運営の推進と改善を進めていく。なお、保護者アンケートは、クラスルームでの配信、回収を行うことで、教員の業務の削減を図る。

2 評価の指標

評価項目に関する実際の取組状況や取組の効果を把握するための指標として、次の3種類の評価を実施する。

- ・保護者による教育評価アンケート
- ・教員による自己評価
- ・学校評議員による学校関係者評価

達成状況や取組の適切さや問題点、それらを踏まえた改善方策を探るため、年に2回、次の4段階評価で実施する。

- A そう思う(取組が優れている状況にある)
- B だいたいそう思う(取組がよい状況にある)
- C あまりそう思わない(課題はあるがおおむねよい状況にある)
- D 全く思わない(課題が多く、速やかな改善が必要である)

また、記名式自由記述欄を設け、保護者のご意見を伺い、職員で共通理解するようにする。

3 本年度の評価について

○評価内容

- ・保護者への教育アンケートと教員用アンケートの評価項目を同一とし、園の在り方を総合的に見直した内容を活用している。
- ・学校評議員の評価については、アンケート形式を見直し、自由記述の評価としている。

○評価実施時期

- ・教員による自己評価ならびに保護者への教育アンケートは例年通り、7月と12月の2回実施し評価する。

○評価方法

- ・保護者への教育アンケートの協力依頼文には、評価項目に準じた「主な取組」を記載し、実施した取組に対する評価を得ることができるようにする。
- ・保護者の教育アンケートについては、クラスルームで配信し、評価を返信してもらう。
- ・7月の結果については、昨年度の結果、12月の結果については、昨年度12月の結果と本年度の7月の結果と比較し、考察する。

○評価報告

- ・本年度も保護者への教育アンケートを実施する時期に、後期前半までの主な取組を保護者全員に伝える場を設ける。そうすることで園運営への理解を深めてもらうようにする。
- ・アンケート集計結果及び考察についても園だより等を利用して保護者全員に伝えた。
- ・本年度も、保護者への教育アンケートの記述欄への回答を園だよりに載せることとする。そうすることにより、園の教育方針や取組への理解がより深まるようにする。

※職員会議や学校評議員会に提出した教員アンケート及び保護者への教育アンケートの集計結果の考察、園だよりに掲載した保護者への教育アンケートの集計結果(園だより「おてつないで」)を参照ください。

Ⅲ 本年度の取組について

1 教育課程

本園の教育課程は、3歳児～5歳児の3年間の育ちの節目から15の「期」に捉えて編成している。本年度は、再編した新教育課程実施6年目として、実施・評価を継続して行っている。

※巻末の資料「令和6年度 教育課程」を参照

2 重点的な取組 ※昨年度の課題を受けての取組

(1) ICTの効果的・効率的な活用

・Google Classroomの活用 →活用の充実
(保護者との連携、及び、業務改善)

・附属学園・大学等外部団体との連携 →継続や新規取組

(2) 園内研究保育の在り方の見直し

・少人数でも可能な研究の在り方 →研究の縮減

・勤務時間で終わるような研修の在り方

→時間設定の見直し・仕事の割り振り見直し

(3) 業務改善と園運営との両立

・働き方改革と保護者等との信頼関係保持の両立

→互いに協力できる職場環境・資源の有効活用

・業務内容・行事等の縮減

→教員・みどり会との調整

Ⅳ 本年度の取組に対する評価

- 1 保護者・教員評価集計考察、保護者配布物（7月）
- 2 保護者・教員評価集計考察・保護者配布物（12月）
- 3 学校評議員会記録（8月・2月）

※次ページより

令和6年7月9日

保護者 各位

富山大学教育学部附属幼稚園
園長 黒田 卓

令和6年度 第1回 教育アンケートの記入について (お願い)

時下 保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より本園の園運営及び教育活動推進に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本園では、教育活動その他の園運営を継続的に改善することを目指し、長期休業に入る機会を節目として自己評価を行っております。園の教育方針をご理解の上、いつも温かく全面的に園運営を支えてくださる保護者の皆様に「教育アンケート」へのご協力をお願いし、お寄せいただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。

つきましては、下記の「参考資料」をお読みいただき、Classroomから送付いたします教育アンケートにご回答ください。ご多用のところを恐縮ですが、7月18日(木)までにご回答の上、返信くださいますようお願いいたします。

なお、教育アンケートは、無記名となっております。ただ、ご意見コーナーに記入される場合は、お名前も一緒に書いていただけるとありがたいです。

「参考資料」

《園の教育目標》

- ・子供らしく、のびやかに、いきいきとした子
- ・自分で考え、行動し、責任をもとうとする子
- ・まわりのすべてに心をかよわせて生活する子

— 令和6年度前期前半の主な取組について (評価項目に準じて記載) —

- 1 園運営：保育参観(4月・6月)、学級連絡会、親子遠足
- 2 保育指導：子供が夢中になって遊ぶことができるようにするための環境構成の工夫と援助(通年)
- 3 保健管理：養護担当による保健指導(手洗い、歯みがき等)
- 4 安全管理：不審者対応避難訓練、交通安全教室・防犯教室の実施
- 5 特別支援教育：スクールカウンセラーの訪問及び保護者との希望面談(毎週火曜日)
- 6 園内研修：保育フォーラム・オープン保育(6月)、研究会議の実施
- 7 情報公開：園だより、学年だより、学年・休業前連絡会、HPの更新
- 8 保護者との連携：連絡ノート、降園時の連絡、懇談会の実施、Google Classroom
- 9 大学・学園、地域との連携：各学校の研究会への参観・附属学園間交流・外部行事等
- 10 施設設備：全職員による安全点検(毎月)、樹木剪定、園庭整備、害虫駆除、大学による安全衛生パトロールの実施

令和6年度 第1回教育アンケート (ふじ)

※7月18日(木)までに、ご回答くださいますようお願いいたします。

※必須の質問です。

【番号：項目名】 内容

評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つにチェックを入れてください。

1. 【1:園運営】園は、園の教育目標の実現に向けて、園行事や保育指導を工夫している。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

2. 【2:保育指導】園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

3. 【3:保健管理】園は、望ましい生活習慣について指導をしている。(挨拶、保健指導)

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

8. 【8:保護者との連携】園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

9. 【9:大学・学園、地域との連携】園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

10. 【10:施設設備】園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

4. 【4:安全管理】園は、子供の安全を守る取組を行っている。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

5. 【5:特別支援教育】園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

6. 【6:園内研修】園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

7. 【7:情報公開】園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

11. 「ご意見コーナー」 (評価項目の番号を記入してください。お名前も書いていただくとありがたいです。)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

お気付きの点やご意見がある方は、ご意見コーナーに評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能だと思われる内容について代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

令和6年度 第1回 教育アンケート（教員用）

富山大学教育学部附属幼稚園

※7月18日(木)までに副園長へご提出ください。

※評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つに○を記入してください。

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 全く思わない

項目	内容	A	B	C	D
1 園運営	私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2 保育指導	私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3 保健管理	私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)				
4 安全管理	私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。				
5 特別支援教育	私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6 園内研修	私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）				
7 情報公開	私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）				
8 保護者との連携	私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）				
9 大学・学園、地域との連携	私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）				
10 施設設備	私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎お気付きの点やご意見がある方は、「ご意見コーナー」に評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能だと思われる内容について、代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

「ご意見コーナー」

【評価項目： 番】

令和6年度 第1回保護者アンケート集計結果 -R5年度7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない			
		R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	
		1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	70%	77%	80%	30%	23%	19%	0%	0%	1%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	78%	79%	86%	22%	21%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	78%	79%	81%	22%	18%	19%	0%	3%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	70%	66%	81%	27%	32%	18%	2%	1%	1%	1%	1%	0%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	57%	67%	71%	39%	28%	28%	4%	4%	1%	0%	1%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	65%	67%	76%	32%	31%	21%	3%	1%	3%	0%	1%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	68%	62%	71%	28%	32%	28%	4%	3%	1%	0%	3%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	66%	70%	79%	28%	21%	20%	6%	6%	1%	0%	3%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	48%	48%	64%	50%	46%	33%	1%	6%	3%	1%	0%	0%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	56%	62%	69%	43%	37%	31%	1%	0%	0%	0%	1%	0%

【考察】

- ・すべての項目で【A:そう思う】の割合が前年12月、前年7月よりアップしており、たいへん嬉しいアンケート結果となっている。
- ・個別の項目で見ると、[9:大学・学園、地域との連携]・[10:施設設備]が、60%台となっている。[9:大学・学園、地域との連携]についてはコロナ禍を経てこれまで培ってきたつながりが薄くなってきている部分がある。また、地域との連携については、校区をもたない附属特有の事情などもあり、つながりを復元するのも難しいと考える。[10:施設設備]については、園舎の内装の大規模改修を一昨年度行ったが、外部施設や遊具については何も改修などがなく危険な状態と言え、大学からの保守の財源もないのが実情である。
- ・園ではこれまで通り保育優先で子供たちのよいようにとに様々なことをしている。しかし、保護者の中には、園に要求することが当たり前であるという認識をもっておられる方もいるそれに即した取組を今後も模索していく必要も感じている。

令和6年度 第1回教員アンケート集計結果 -R5年度7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない			
		R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	
		1	園運営	私(園)は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	67%	50%	22%	33%	40%	78%	0%	10%	0%	0%
2	保育指導	私(園)は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	56%	33%	22%	44%	56%	67%	0%	11%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	私(園)は、望ましい生活習慣について指導をしている。(挨拶、保健指導)	78%	70%	67%	22%	30%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理	私(園)は、子供の安全を守る取組を行っている。	56%	70%	33%	44%	30%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	私(園)は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	56%	60%	56%	44%	40%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
6	園内研修	私(園)は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。(担任のみ回答)	40%	17%	17%	60%	67%	83%	0%	17%	0%	0%	0%	0%
7	情報公開	私(園)は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。(担任のみ回答)	25%	50%	17%	75%	50%	83%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8	保護者との連携	私(園)は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。(担任のみ回答)	50%	50%	67%	50%	50%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	私(園)は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。(担任のみ回答)	25%	20%	17%	25%	40%	83%	50%	40%	0%	0%	0%	0%
10	施設設備	私(園)は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	67%	30%	44%	33%	70%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【考察】

- ・今回は各項目で【C:あまりそう思わない】【D:全くそう思わない】がなかった点はよかったと受け取っている。
- ・【A:そう思う】が少なく【B:だいたいそう思う】が多い項目として特に多いのは、[7 情報公開][9 大学・学園、地域との連携]であった。[7 情報公開]については、情報公開を分かりやすくできているかという点で、【A:そう思う】に付けるのを躊躇したようである。特に、情報を出すことによる仕事量の増大や新たな課題などが発生することが予想されているということである。しかし、それをしていないということで、【B:だいたいそう思う】を付けたということのようである。[2 保育指導][4 安全管理]が高くない点も自己評価として担任が、もっとできたのではないかという思いがあったところが大きいのではないかと考える。

おてつないで

富山大学教育学部
 附属幼稚園 園だより
 令和6年9月13日発行

第1回教育アンケートにご協力いただきありがとうございました

夏休みが開けても暑い日が続きますが、子供たちは、元気よく外で活動したり、友達と関わったりしています。8月30日には教育実習も始まりました。前期後半、後期前半には行事がたくさんあります。子供たちが有意義な体験を重ねていけるよう、教職員一同、全力で取り組みたいと思います。

令和6年度 第1回保護者アンケート集計結果 -R5年度7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない		
		R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7	R5.7	R5.12	R6.7
1	園運営 園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	70%	77%	80%	30%	23%	19%	0%	0%	1%	0%	0%	0%
2	保育指導 園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	78%	79%	86%	22%	21%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理 園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	78%	79%	81%	22%	18%	19%	0%	3%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理 園は、子供の安全を守る取組を行っている。	70%	66%	81%	27%	32%	18%	2%	1%	1%	1%	1%	0%
5	特別支援教育 園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	57%	67%	71%	39%	28%	28%	4%	4%	1%	0%	1%	0%
6	園内研修 園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	65%	67%	76%	32%	31%	21%	3%	1%	3%	0%	1%	0%
7	情報公開 園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	68%	62%	71%	28%	32%	28%	4%	3%	1%	0%	3%	0%
8	保護者との連携 園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	66%	70%	79%	28%	21%	20%	6%	6%	1%	0%	3%	0%
9	大学・学園、地域との連携 園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	48%	48%	64%	50%	46%	33%	1%	6%	3%	1%	0%	0%
10	施設設備 園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	56%	62%	69%	43%	37%	31%	1%	0%	0%	0%	1%	0%

さて、7月の教育アンケートの際には、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。集計結果・ご意見を真摯に受け止め、子供たちの成長にとってよりよい幼稚園となるよう努めて参ります。

今年度前期前半と、昨年度までの結果と比較すると【A：そう思う】の割合が全ての項目において高く、身に余る程の評価いただいていることが感じられ、とても嬉しく思います。教職員一同この結果に甘んじることなく取り組みたい所存です。

結果を個別に見ると、個別の項目で見ると、【9：大学・学園、地域との連携】・【10：施設設備】が、60.0%台となっている。【9：大学・学園、地域との連携】についてはコロナ禍を経てそれまで培ってきたつながりが薄くなってきている部分がある。また、地域との連携については、校区をもたない附属特有の事情などもあり、つながりを復元するのも難しいと考える。【10：施設設備】については、園舎の内装の大規模改修を一昨年度行ったが、外部施設や遊具については何も改修などがなく危険な状態と言え、大学からの保守の財源もないのが実情であるが、大学に根気強く訴え続けていきたい。【5：特別支援教育】・【7：情報公開】

・【特別支援教育】については、教職員の仕事を削減し、その分、できるだけ子供の援助に行かせるようにしたいと考えています。また、SC等とも連携を図りながら、子供一人一人に丁寧に対応していくようにしていきます。【情報公開】については、働き方改革との兼ね合いも考慮するとともに保護者との連携を密にしながら、できるだけ皆様に情報公開をしていきたいと考えております。ご理解いただけると幸いです。

「ご意見コーナー」より ※名前を書かれた方の意見です。事例が特定できる意見は編集しました。〔 〕は園の方針等

2 保育指導

日頃より先生方には子供たち一人一人にも優しく接していただいたり、子供たちが園で安全にのびのびと意欲的に遊べるよう、環境を整えてくださったりして感謝しています。また、保護者の相談にもものってください、附属幼稚園に入園してよかったと思っています。

いつも様々な経験をさせていただきありがとうございます。

保育指導 どの学年も子供も夢中になっていきいきと活動していると思います。また、自分で困った時にどうしたら良いか（話し合っって相手の友達とどうするか決めたいなど）考える力もついてきて、成長を感じます。

【3件とも、嬉しいご意見ありがとうございます。今後も同様に取り組みたく思います。】

4 安全管理

保護者のモラルが大きいですが、登園時は学園近くの道路は混み合い、渋滞も時々起こり急ぐ気持ちもあると思います。けれども、赤信号で渡られるのはとても危険です。（横断歩道は青です）

【みどり会とも共通理解を図り改善できる点を探したいと思います。】

5 特別支援教育

娘が友達関係にやや不安を感じた時、先生方の適切な声掛けをいただき、一層元気になることができました。これからも、このような声掛けを継続していただければと思います。

【このようなご意見がさらにいただけるように教職員一同、子供をよくみていき丁寧に対応したいと思います。】

7 情報公開

保育活動の内容 子供に個人差があるとは思いますが、なかなか保育内容を家で話さない、又は信憑性が薄いためもう少し具体的に教えて頂けると助かります。自分がされたくない事は友達にしないという約束をクラスでお話したようなのですが、その内容がもっと分かりやすいとよいと感じました。

【担任と共通理解し、保護者がこのように受け取っておられることを共通理解いたしました。】

8 保護者との連携

みどり会と園がもう少し協力し合えるとよいのではないかと思います。「園の方針にそぐわない」「先生方のやり方と違う」という理由で、みどり会主催の行事について意見を言っても通りにくい。みんな園をよくしたいという思いは一緒だと思うので残念です。

【このようなご意見があったことを全体に周知し、少しでもよい方向にいくように取り組みたいです。】

10 施設設備

屋内の遊具がやや寂しいような気がします。大学や民間との遊具等に関する共同研究の場を提供するとかで、少ない予算で先進的な遊びを取り入れる工夫を検討する方法もあるのではと思います。【ご意見ごもっともで、提案されていることも理解できます。ただ、現時点でそのような共同研究の取組を把握しておりません。現在ある遊具については大学で予算をとっていただいているわけではないので自前でペンキを塗ったり、毎月の安全点検で修繕の必要があるか確認したりしています。】

お名前のない方のご意見・文章を変更した場合についても、教職員・学校評議員の方には原文のままお伝えし、共通理解を図りました。ただし、園だよりへの掲載については、割愛させていただきます。

今後も保育優先を心がけ、子供たちのために様々な取り組みをしています。その中で、保護者の皆様と園とが協力し合い取り組んでいくことで、より子供たちの成長に良い影響を与えると考えております。園運営等について分かりにくい点等ありましたら、日々顔を合わせる機会もありますのでいつでも声をかけてください。内容によっては承れないこともあるかもしれませんが、教職員で共通理解し少しでも改善することができる部分は取り組んでいきたいと考えております。今後とも本園に対してご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

12月に同じ項目で教育アンケートをとり、7月の結果と比較して考察していきたいと考えております。その際には、再度お手数をおかけしますが、ご協力いただきたいと思います。

令和6年12月6日

保護者 各位

富山大学教育学部附属幼稚園

園長 黒田 卓

令和6年度 第2回 教育アンケートの記入について (お願い)

時下、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本園では、教育活動その他の園運営を継続的に改善することを目指し、長期休業に入る機会を節目として自己評価を行っております。園の教育方針をご理解の上、いつも温かく全面的に園運営を支えてくださる保護者の皆様に「教育アンケート」へのご協力をお願いし、お寄せいただいたご意見を今後の参考にさせていただきます。

つきましては、下記の「参考資料」をお読みいただき、Classroom から送付いたします教育アンケートにご回答ください。ご多用のところを恐縮ですが、12月17日(火)までにご回答の上、返信くださいますようお願いいたします。

なお、教育アンケートは、無記名となっております。ただ、ご意見コーナーに記入される場合は、お名前も一緒に書いていただけるとありがたいです。

「参考資料」

《園の教育目標》

- ・ 子供らしく、のびやかに、いきいきとした子
- ・ 自分で考え、行動し、責任をもとうとする子
- ・ まわりのすべてに心をかよわせて生活する子

— 令和6年度後期前半の主な取組について (評価項目に準じて記載) —

- 1 園運営：運動会、いもほりパーティ・クッキング、秋見付け遠足、こどもまつり、学校評議員会 (年2回)
- 2 保育指導：重点目標「夢中になって遊ぶ子供の育成」に向けて環境構成の工夫と援助
- 3 保健管理：感染症拡大防止対策、養護担当による保健指導 (歯みがき、目、かぜの予防等)
- 4 安全管理：全教職員による安全点検 (月1回)、交通安全教室、避難訓練、防火教室、環境衛生検査
- 5 特別支援教育：スクールカウンセラー (SC) の訪問及び保護者との希望面談 (毎週火曜日)
SC・特別支援学校の特別支援コーディネーター (訪問含) を交えた園児指導会議
- 6 園内研修：研究主題「主体的な活動を支える教師の役割」の解明、園内研修・研究会議の実施、施設訪問研修
- 7 情報公開：園だより、学年だより、HPの更新、Google Classroom の活用
- 8 保護者との連携：連絡ノート、降園時の連絡、園長トーク、学年・学級・休業前連絡会、個別懇談会
- 9 大学・学園、地域との連携：教育実習 (3年次)・教職実践演習 (4年次) の受け入れ、大学教員への研究協力、附属学園との交流
- 10 施設設備：安全点検 (毎月1回)、園庭整備、安全衛生・産業医パトロール、環境衛生検査

令和6年度 第2回教育アンケート(もも)

※12月17日(火)までに、ご回答くださいますようお願いいたします。

※必須の質問です。

【番号:項目名】 内容

評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つにチェックを入れてください。

1. 【1:園運営】園は、園の教育目標の実現に向けて、園行事や保育指導を工夫している。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

2. 【2:保育指導】園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

3. 【3:保健管理】園は、望ましい生活習慣について指導をしている。(挨拶、保健指導)

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

8. 【8:保護者との連携】園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

9. 【9:大学・学園、地域との連携】園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

10. 【10:施設設備】園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

4. 【4:安全管理】園は、子供の安全を守る取組を行っている。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

5. 【5:特別支援教育】園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

6. 【6:園内研修】園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

7. 【7:情報公開】園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。

当てはまるものをすべて選択してください。

- A: そう思う
 B: だいたいそう思う
 C: あまりそう思わない
 D: 全く思わない

11. 「ご意見コーナー」(評価項目の番号を記入してください。お名前も書いていただけるとありがたいです。)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

お気づきの点やご意見がある方は、ご意見コーナーに評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能と思われる内容について代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

令和6年度 第2回 教育アンケート（教員用）

富山大学教育学部附属幼稚園

※12月16日(月)までに副園長へご提出ください。

※評価は、A・B・C・Dの中から選び、あてはまる欄一つに○を記入してください。

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 全く思わない

項目	内容	A	B	C	D
1	園運営 私（園）は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。				
2	保育指導 私（園）は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。				
3	保健管理 私（園）は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)				
4	安全管理 私（園）は、子供の安全を守る取組を行っている。				
5	特別支援教育 私（園）は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。				
6	園内研修 私（園）は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。（担任のみ回答）				
7	情報公開 私（園）は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。（担任のみ回答）				
8	保護者との連携 私（園）は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。（担任のみ回答）				
9	大学・学園、地域との連携 私（園）は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。（担任のみ回答）				
10	施設設備 私（園）は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。				

◎お気付きの点やご意見がある方は、「ご意見コーナー」に評価項目に沿ってお書きください。その際、実現可能だと思われる内容について、代案や対応策等を具体的にお示しいただきますようお願いいたします。

「ご意見コーナー」

【評価項目： 番】

令和6年度第2回保護者アンケート集計結果 -R5.12月、R6.7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない			
		R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	
		1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	77%	80%	87%	23%	19%	13%	0%	1%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	79%	86%	87%	21%	14%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	79%	81%	85%	18%	19%	14%	3%	0%	1%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	66%	81%	79%	32%	18%	20%	1%	1%	1%	1%	0%	0%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	67%	71%	79%	28%	28%	20%	4%	1%	1%	1%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	67%	76%	79%	31%	21%	20%	1%	3%	1%	1%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	62%	71%	69%	32%	28%	27%	3%	1%	4%	3%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	70%	79%	79%	21%	20%	18%	6%	1%	3%	3%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	48%	64%	60%	46%	33%	30%	6%	3%	9%	0%	0%	1%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	62%	69%	73%	37%	31%	27%	0%	0%	0%	1%	0%	0%

【考察】

- ・10項目とも【A:そう思う】の割合が6月と似通っており、引き続き高い評価を続けて受けることができたと考えている。
- ・個別の項目で見ると、[7:情報公開][9:大学・学園、地域との連携]が、60%台となっている。[7:情報公開]については、できる限り保護者に伝達しようとしているが、どちらかというホームページ等での子供たちの写真を望む声が多いことが分かっている。ただ、子供たちの写真を安易に掲載することは、2次使用につながる恐れもあり、十分に注意を払うことが求められるし、それにかかる時間的な負担も大きい。[9:大学・学園、地域との連携]についてはコロナ禍を経てこれまで培ってきたつながりが薄くなってきている部分がある。ただ、大学教授やその他学園との交流も広がっている。それらを保護者には伝えるようにしている。
- ・園ではこれまで通り保育優先で子供たちのよいようにとに様々なことをしている。しかし、保護者の中には、園に要求することが当たり前であるという認識をもっておられる方もいる。保護者同士でも温度差が大きい。無理な要求には多少印象が悪くならうとも断る勇気が必要と考えている。

令和6年度第2回教員アンケート集計結果 -R5.12月、R6.7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない			
		R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	
		1	園運営	私(園)は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	50%	22%	56%	40%	78%	44%	10%	0%	0%	0%
2	保育指導	私(園)は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	33%	22%	38%	56%	67%	62%	11%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	私(園)は、望ましい生活習慣について指導をしている。(挨拶、保健指導)	70%	67%	78%	30%	33%	22%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4	安全管理	私(園)は、子供の安全を守る取組を行っている。	70%	33%	56%	30%	67%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5	特別支援教育	私(園)は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	60%	56%	56%	40%	44%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
6	園内研修	私(園)は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。(担任のみ回答)	17%	17%	40%	67%	83%	40%	17%	0%	20%	0%	0%	0%
7	情報公開	私(園)は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。(担任のみ回答)	50%	17%	80%	50%	83%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8	保護者との連携	私(園)は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。(担任のみ回答)	50%	67%	60%	50%	33%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	私(園)は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。(担任のみ回答)	20%	17%	40%	40%	83%	60%	40%	0%	0%	0%	0%	0%
10	施設設備	私(園)は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	30%	44%	33%	70%	56%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【考察】

- ・[1園運営][2保育指導][3保健管理][4安全管理][5特別支援教育]については7月に比べ、安定して【A:そう思う】の割合が横ばいか向上している。今年度の取組が浸透し良さを感じられたのだと考えている。
- ・[6園内研修][9大学・学園、地域との連携]については、実際の活動が活発化したり、うまく回っていることについて手ごたえを感じてきているのではないかなと思う。
- ・[7情報公開]については、保護者アンケートと最も乖離している部分と考える。これは、こちらとしては精一杯、公開しているという思いがある表れである。
- ・[10施設設備]については、昨年1月の地震の影響がいくつかあるように考えている。直したいが直せない所やどう直せばよいか不明なところなど、職員としてどうにかしたいと思っている部分が多いところであると考える。

おててっないで

富山大学教育学部
 附属幼稚園 園だより
 令和7年2月3日発行

第2回教育アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度も後2か月あまりとなりました。今年度は例年に比べ穏やかな天候で、積雪の心配も少ないこともあり、冬でも外遊びを多くする機会に恵まれています。そして、皆様からのご協力を得ながら園運営がほぼ滞りなくできたことについてもたいへん嬉しく思っております。この後、修了式などの行事も控えています。今後も子供たちが園生活をのびのびと行えるよう、よい環境を整え、日々の保育に取り組んでいきたいと考えております。

令和6年度第2回保護者アンケート集計結果 -R5.12月、R6.7月・12月との比較-

項目	内容	A そう思う			B だいたい そう思う			C あまり そう思わない			D 全く 思わない			
		R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	R5.12	R6.7	R6.12	
		1	園運営	園は、園目標の実現に向けて、園行事や保育活動を工夫している。	77%	80%	87%	23%	19%	13%	0%	1%	0%	0%
2	保育指導	園は、子供が夢中になって遊ぶことができるよう、適切な援助をしている。	79%	86%	87%	21%	14%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
3	保健管理	園は、望ましい生活習慣について指導をしている。 (挨拶、保健指導)	79%	81%	85%	18%	19%	14%	3%	0%	1%	0%	0%	0%
4	安全管理	園は、子供の安全を守る取組を行っている。	66%	81%	79%	32%	18%	20%	1%	1%	1%	1%	0%	0%
5	特別支援教育	園は、一人一人の子供の思いを捉え、個に応じた援助に努めている。	67%	71%	79%	28%	28%	20%	4%	1%	1%	1%	0%	0%
6	園内研修	園は、研究主題達成に向けて、意欲的に研修に取り組んでいる。	67%	76%	79%	31%	21%	20%	1%	3%	1%	1%	0%	0%
7	情報公開	園は、園運営の方針や保育活動の様子を分かりやすく伝えている。	62%	71%	69%	32%	28%	27%	3%	1%	4%	3%	0%	0%
8	保護者との連携	園は、家庭への連絡を行ったり、保護者の思いを聞く努力をしたりしている。	70%	79%	79%	21%	20%	18%	6%	1%	3%	3%	0%	0%
9	大学・学園、地域との連携	園は、大学・附属学園や地域との連携を図っている。	48%	64%	60%	46%	33%	30%	6%	3%	9%	0%	0%	1%
10	施設設備	園は、健康・安全に配慮した施設や環境の整備に努めている。	62%	69%	73%	37%	31%	27%	0%	0%	0%	1%	0%	0%

12月の教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。上記の表が集計結果となります。この結果について、職員会議において教職員で共通理解しました。

令和6年度第1回アンケートの集計結果と比較し、10項目とも【A：そう思う】の割合が令和6年7月同等の高い評価となりました。これまでの取組を評価いただけたことに感謝いたしますとともに、今後も引き続き子供たちのために頑張ろうと気持ちを新たにしております。

比較的評価の低い【7：情報公開】、【9：大学・学園、地域との連携】については、教職員の業務との調整を図りながら保護者への適切な情報公開の在り方や地域との連携について継続して検討してまいります。今後もより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

「ご意見コーナー」より※記名された方の意見です。事例が特定できる意見等は編集しました。〔 〕は園の方針等

1 園運営

前回もお伝えしましたが、携帯電話の適正使用について許可しても良いのではないのでしょうか（別にゲームや SNS をさせると言っているわけではないです。写真を撮ること、緊急の連絡を受けること、わからない事象を検索すること等の許可を頂きたい。特に携帯電話は一部で魔女狩りの如く取り締まられています…）。この時代に通信デバイスを禁止にするのはなぜなのでしょう。前回の回答は「使用禁止ということでご納得ください」とのことでしたが、明確な理由が知りたいです。

【これまでも同様のご意見をいただいておりますが、子供たちの情報保護の観点から、園内でのスマートフォンの利用はご遠慮いただいております。特にスマートフォンによる写真や動画の撮影については、簡単に共有することができ、意図しない形で不特定多数に漏洩する可能性が考えられます。我が子のみを撮影したつもりでも、他の子供や、掲示物等につけられた氏名等が映り込むことも考えられます。教員が撮影する場合でも、名前等が映らないように気をつけ、映り込んでいる写真を利用する際にはその部分をマスクするなど気をつけております。緊急連絡の際は、幼稚園の敷地外でお願いいたします。特に登降園時は多くの保護者が正門付近にいらっしゃる事が想定されますので、他の保護者の方にも十分にご配慮いただき、可能な限りご使用をお控えいただければ幸いです。】

2 保育指導

のびのびと園生活を過ごしており、安心して家から送り出すことができます。子供も、園で困ったことがあれば先生に相談すれば良いと理解しており、信頼関係が築けているのだと思います。それも先生方の行き届いたサポートのおかげだと思っております。のびのびと自由に楽しむ面と、ルールを守りきちんと過ごす面があり良いと思います。ダメなことはきちんと話をしてくださるのでありがたいです。降園時、親全体に話すことはなくなりましたが、クラスルームできちんとご連絡くださるのでそれで十分だと感じています。

【今後もクラスルームで、園での様子が分かるように伝えていきたいと思っております。】

お休みした際には、ご心配をおかけしました。おかげさまで、久しぶりに登園し、元気に登園しております。先生方の温かいご支援とお心遣いに感謝しております。

【今後も子供たちが楽しく来られるような園づくりを目指します。】

5 特別支援教育

担任の先生に、子供のことで頭を抱えていることを打ち明けると、すぐに面談をセッティングし、親身になって相談にのってください、共感してくださいました。決して子供の人格を否定することなく受け入れてくださり、「大丈夫です」の一言に大変救われました。今後どうしたら良いか対策も一緒に考えてくださり、私自身も気持ちが楽になりました。今でも子供の興味が持てる話題をふってください、自らの足で幼稚園へ入れるよう援助して下さっていたりすることに大変感謝しております。

【ありがとうございます。今後もより一層、一人一人の子供に寄り添っていけるよう頑張ります。】

7 情報公開

降園時に子供が今日は何をして過ごしていたのかを具体的に教えて頂けるので、子供の幼稚園での様子が伝わってきて安心できます。そしてそれが私の楽しみでもあります。また、最後には明日も〇〇で遊ぼうね、待ってるねと声をかけていただけるのも嬉しく、子供が幼稚園へ楽しく通えるきっかけとなっているように感じます。いつも様々なサポートをしてくださり本当に感謝しています。

【今後もより具体的にお伝えできるよう考えてまいります。】

長い夏休みの中で、クラスルームより頂いた先生方メッセージは子どもの早く園に登園して皆に会いたいという楽しみを沸かせてくれました。

【長期休業中のメッセージは今後も続けてまいります。】

日頃の園での内容はクラスルームや降園時の担任との会話で出来事はわかるのですが、具体的な内容や子供の様子をもっとわかると良いなと感じております。（あまり園での出来事を話さない、忘れたと言うこともあるため）

【ご心配なことがございましたら、担任にご相談ください。時間をとってお伝えいたします。】

その他、「制服があるとよい」というご意見をいただきましたが、現時点では考えておりません。また、「研修や他団体との交流等を推進し、子供たちの成長に役立ててほしい」旨のご意見等もいただきました。保育カリキュラムや年間行事等もあわせて今後検討させていただきたく思います。

他にいただいた無記名の方のご意見についても、全て職員で共通理解いたしました。

令和6年度 第1回 学校評議員会 記録

令和7年8月1日実施

- 1 園長挨拶
- 2 自己紹介
- 3 園運営方針・評価計画
- 4 園の教育プラン
- 5 園の近況（前期の教育活動を中心として）
 - 園運営、保育指導
 - ・始業式・入園式（4月）
 - ・保育参観（4・6月）及び、保育指導の様子
 - ・季節の行事・植物育成（こいのぼり設置、サツマイモいも植え等）
 - ・親子遠足（5月）・サマーチャレンジ（7月）
 - 保健管理、安全管理、特別支援教育
 - ・手洗い指導（4月）、歯の指導（6月）
 - ・交通安全教室（4月）、避難訓練（4・5月）、防犯教室（7月）、
 - ・週一回のSCの訪問、SCを交えた指導部会（11月）
 - 園内研修、情報公開、保護者との連携
 - ・オープン保育・保育フォーラム（6月）
 - ・長期休業前保育者連絡会（7月）、学級連絡会、引き渡し訓練（5月）、クラスルーム
 - 大学・学園、地域との連携
 - ・保育フォーラムでの教育学部との研究協力、その他の教育学部との各種研究協力
 - ・附属学園内・地域との交流
 - 施設設備
 - ・業者・職員による安全点検、PTAとの連携による環境整備等

※写真【前期の主な取組】を提示しながら、評価項目に準じて説明

- 6 教育アンケートの集計及び考察
【7月実施 教育アンケート集計結果】参照
- 7 協議
 - ・コロナ禍後、少しずつ親子活動、こどもまつり等、これまで通りにもどりつつある。今後このような感じで戻ることを期待している。
 - ・行事に向かい保育がなされると本来の目的でないところにむかうので、振り回されないことが大切である。行事はできるところを、やるやらないを考えるとともに時間や内容も考えることが大切である。
 - ・幼稚園教育の理想であり、よいようちえんである。よさをアピールすることが大切だが、英語をうまくするのではなく、保護者の負担を軽減するなどが求められると考える。
 - ・コロナがきっかけとなり削減できるところは削減するのがよい。職員の働き方のもばらばらであり難しい運営であると言える。富山市でも幼稚園の園数が減っている。
 - ・パースデーケーキの受注数が減っている。それは子供の数が減っているからである。このような状況を鑑み生き残りをかけて、教育実習生の活用や預かり保育など、考えていくことも必要かもしれない。
 - ・附属幼稚園が研究の場であることを保護者に理解してもらうべきである。
子供たちはコロナ禍を経て、みんなで外で遊ぶ機会が少なく、家で水、土を触ることが少なくなるなど体験が少なくなっていると感じている。

- 1 園長挨拶
- 2 園運営方針・評価計画
- 3 園の教育プラン
- 4 園の近況（前期の教育活動を中心として）
 - 園運営、保育指導
 - ・運動会、いもほり、サツマイモを使った活動、秋見付け遠足（11月）
 - こどもまつり（11月）、雪遊び（1月）、節分の遊び（2月）
 - こどもアートひろば・にじいろコンサート（2月）
 - 保健管理、安全管理、特別支援教育、施設設備
 - ・目（10月）・歯（11月）、かぜの予防（8・12月）
 - ・交通安全教室（12月）、防火教室（12月）、避難訓練（9・10・1月）
 - ・週1回のSC訪問、特支特別支援コーディネーター訪問と2人を含めた指導部会（11月）
 - ・樹木の剪定・不備の修繕、五艘地区安全衛生委員会等（産業医からの意見等）
 - 園内研修、情報公開、保護者との連携
 - ・園内研修（10・11月）
 - ・園だより、学年だより、ホームページ、クラスルーム、連絡ノート他
 - 大学・学園、地域との連携
 - ・教育実習（8・9月）、その他の教育学部との各種研究協力
 - ・年長児と小1、全学年と中3との交流、特支高等部体験活動の場として等
- 5 教育アンケートの集計及び考察
 - 【12月実施 教育アンケート集計結果】参照
- 6 協議
 - ・幼児教育の人材不足がある中で、教育実習に来ていいるのは何人いるのか。4年制を出て幼稚園の先生になるのは少ないので、実習での充実した体験が望まれる。
 - ・幼稚園、小学校との連携が注目されている。近くの小学校とつながり、それを研究目標にするなど交流が復活している。その際、校長とのつながりが大事である。附属学園としても、例えば雪遊びを一緒にするといった附属小とのつながりが求められるのではないかと。他校で幼稚園のうちから小学校ランチルームで食事をいただく取り組みもあった。カリキュラムの違いもあるが、できることから一緒に活動する経験を積むことが大切である。
 - ・大学・学園・地域との連携についての評価が低い。保護者に伝わっていないのではないかと。連携にタイトルを付けておくと分かりやすい。保護者がどんな連携を期待しているのかに聞くのも手である。バスの乗り方指導など地域との連携につながる。五艘地区と連携し歩道の歩き方などと一緒に交通指導、挨拶指導を一緒に協力するとよいのではないかと。
 - ・附属幼稚園は弁当である。小学校、特別支援学校は給食である。幼稚園から給食がつながることができるかとスムーズである。嫌いなものが食べられなかったり、吐いてしまったりすることもある。小学校と連携し、給食を食べられる機会をもつのがよい。教師と家庭との連携を図ることで、意外とうまくいく場合もある。
 - ・教育アンケートを公表する際は、園児が特定されないようにすることが必要である。
 - ・携帯等の利用を制限する際は、理由を説明し理解を得るようにするのがよい。
 - ・園長トークは貴重な機会である。附属幼稚園としての特徴と言える。保護者が集合するのはたいへんであり、これまでのようにオンラインでの開催がよいと思う。

V 次年度の課題

- 1 ICTの効果的・効率的な活用
 - ・Google Classroomの活用
(保護者との連携、及び、業務改善)
 - ・外部団体との連携・よい部分の導入

- 2 研究と勤務時間とのバランス
 - ・充実した結果がでる研究の在り方
 - ・勤務終了時刻を意識した研究・研修

- 3 業務改善と園運営との両立
 - ・働き方改革と保護者等との信頼関係保持の両立
 - ・業務内容・行事等の縮減

学校評価結果を受け、次年度も園と保護者が「共に子供を育てる」という意識の下、よりよい園運営を進めていきたいと考えている。

令和6年度 教育課程

(1) 3歳児

領域 【健】…健康 【人】…人間関係 【環】…環境 【言】…言葉 【表】…表現

期	I (4月～5月前半)	II (5月後半～7月)	III (8月～10月)	IV (11月～12月)	V (1月～3月)
ね ら い	子供らしく、のびやかに、いきいきとした子	○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。	○安定感をもって伸び伸びと過ごす。	○体を動かして遊ぶことを楽しむ。	○自分の気持ちや言葉等で表現することを楽しむ。
	自分で考え、行動し、責任をもとうとする子	○健康、安全な生活に必要なきまりがあることを知る。	○身の回りのことを自分でしようとする。	○好きな遊びを楽しむ。	○幼稚園生活の中でしてよいことや悪いことに気付く。
	まわりのすべてに心をかよわせて生活する子	○教師と関わり、親しみや信頼感をもつ。	○身の回りの環境に興味をもって関わろうとする。	○自然に触れて遊ぶ楽しさに気付く。	○やりたい遊びを通して友達と親しむ。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と共に過ごすことの喜びを感じながら、安心感をもって生活する。【健1】【人1】 ・教師や友達と一緒に食べることを楽しむ。【健5】 ・幼稚園における生活の仕方やきまりを知り、健康な生活のリズムの中で過ごす。【健6・8】【人11】 ・教師と一緒に、衣服の着脱、食事、排泄等の生活に必要な活動をする。【健7】 ・園の物や遊具に興味をもち、教師と一緒に安全に楽しく遊ぼうとする。【健10】【人12】 ・自分のマークやクラスの印が分かるようになる。【環10】 ・教師の話に興味をもち、聞こうとする。【言1】 ・園生活に必要な言葉が分かるようになる。【言5】 ・登降園、食事の挨拶を知り、言おうとする。【言6】 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に安心感をもって行動する。【健1】 ・衣服の着脱や排泄等の生活に必要な活動を自分でしようとする。【健7】【人3】 ・教師や友達と共に過ごすことの心地よさに気付く。【人1】 ・生活の中のものやことに触れ、興味をもつ。【環1・2・4・8・9】 ・してほしいことやしたいことを教師に言葉で伝えようとする。【言1・3】 ・教師と一緒に身の回りの様々な音や形、色、手触り等に気付く。【表1・3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊びの中で体を動かすことを楽しむ。【健2】 ・天気の良い日には進んで戸外で遊ぶ。【健3】 ・様々な遊びに興味をもち、楽しんで取り組む。【健4】 ・自分のやりたいことを見付けて遊ぶ。【人2】 ・友達と一緒に活動することを楽しむ。【人7】 ・季節の変化に気付く。【環3】 ・草花や虫等の身近な動植物に興味をもつ。【環4・5】 ・いろいろな素材に親しんで遊ぶ。【表5】 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりがあることを知り、守ろうとする。【人11】 ・教師や友達と共に過ごす中で喜びや悲しみ等を感じる。【人1】 ・個人の物と、皆で使う物があることに気付く。【人12】【環7】 ・したり、見たり、聞いたりしたこと等を自分なりに言葉で表現する。【言2】 ・絵本や物語、言葉遊び等に親しみ、イメージの広がりや言葉の響き等を楽しむ。【言7・8・9】 ・身近な物や出来事に心を向け、様々な感情をもつ。【表2】 ・感じたことや考えたことを音や動き、絵等で表現しようとする。【表3・4】 ・友達と一緒に歌うことを楽しむ。【表6】 ・劇遊びの中で、役になりきって楽しく遊ぶ。【表8】 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで戸外で遊ぶ中で、冬の自然に関心をもち、冬ならではの遊びで十分に体を動かす。【健2・3】【環3・4】 ・病気の予防に必要な活動をしようとする。【健9】 ・自分でやってみようと思ったことを最後までやり通したことに満足感をもつ。【人2・4】 ・友達と進んで関わろうとする。【人5・10】 ・友達と言葉を交わしながら遊ぼうとする。【言1】 ・教師と一緒に困っていることやしてほしいことを相手に伝えようとする。【言3・5】 ・かいたりつくったりしたものを飾ることを喜ぶ。【表7】

(2) 4歳児

領域 【健】…健康 【人】…人間関係 【環】…環境 【言】…言葉 【表】…表現

期	VI (4月～5月)	VII (6月～7月)	VIII (8月～10月)	IX (11月～12月)	X (1月～3月)
ね ら い	子供らしく、のびやかに、いきいきとした子	○健康、安全な生活に必要な態度を身に付ける。 ○自分のやってみたいことを思う存分楽しみ、満足感をもつ。	○進んで体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。	○自分で調整しながら、体を十分に動かして運動しようとする。 ○言葉に対する感覚が豊かになり、イメージに浸って自分なりに表現しようとする。	○生活に必要な習慣や態度が概ね身に付き、見通しをもって行動しようとする。
	自分で考え、行動し、責任をもとうとする子	○園の生活に見通しをもち、行動する。	○園生活を楽しみながら、自分のことは自分でやり遂げようとする。	○友達のよさに気付きながら、一緒に遊びを進めていこうとする。	○友達と一緒に遊びを進めていく中で、満足感や充実感を味わおうとする。
	まわりのすべてに心をかよわせて生活する子	○教師や友達に親しみ、一緒に活動する楽しさを味わう。	○身の周りの環境に関心をもち、発見したり、それを遊びに取り入れたりしようとする。	○自分の身近な人と親しみ、関わりを深め、信頼感をもつ。	○身近な環境に関心をもち、物の性質や数量、文字等に興味をもち始める。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、教師や友達と触れ合い、安心感を得て過ごす。【健1・8】 ・戸外で、体を十分に動かして遊ぶ。【健2・3】 ・自分の健康に関心をもちたり、身を守ることの大切さに気付いたりする。【健9・10】 ・楽しく遊ぶためのきまりを知り、守って楽しく遊ぼうとする。【人11】 ・身近な動植物に関心をもちて大切に育てようとする。【環4・5】 ・園章やクラスの友達のマークが分かる。【環10・12】 ・教師の言葉や話に興味や関心をもちて聞いたり、したいことやしてほしいことを教師に伝えたりしようとする。【言1・3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りを清潔にし、自分で衣服の着脱や汗の始末等をする。【健7】 ・危険な場所や遊び方が分かり、安全に気を付けて遊ぶ。【健10】 ・やってみたいことを見付け、教師や友達と一緒に試しながら遊ぶ。【人1・2】【環8】 ・よいことや悪いことがあることに気付き、考えて行動する。【人9】 ・生活の中で様々な素材や道具に触れ、自分なりに遊びに生かそうとする。【環2】【表1】 ・季節の変化や動植物の不思議さに気付き、身の周りの自然に関心をもち。【環1・3・11】 ・見たり、聞いたり、思ったりしたことや感動したことを自分なりの言葉で表現し、伝えようとする。【言2】【表3】 ・生活の中で必要な言葉を使ったり、身近な人に挨拶をしたりする。【言3・5・6】 ・いろいろな素材に親しみ、つくったりかいたりすることを楽しむ。【表5・7】 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を伸び伸びと十分に動かして遊ぶことを楽しむ。【健2】 ・自分たちで掘ったサツマイモを使って調理し、みんなで食べることを楽しみ、食べ物に興味をもつ。【健5】 ・友達と一緒に活動する楽しさを味わう。【人7】 ・友達とより楽しく遊ぶために、ルールやきまりを守って遊ぶことの大切さに気付く。【人9・11】 ・みんなで使う道具や用具を大切に使う。【人12】【環7】 ・秋の自然や生活の仕方の変化に気付く。【環3】 ・遊びに必要な図形や文字等に関心をもち、教師に尋ねたり書いてもらったりする。【環8・9・10】 ・日の丸やいろいろな国の旗に興味をもつ。【環12】 ・自分の力でやり遂げようとする中で、分からないことや知りたいことを自分なりの言葉で表現する。【人3・4】【言3】 ・新しい素材を知り、親しみ、工夫して使ったり、遊びに取り入れたりしようとする。【表5】 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の危険な場所や危険な遊び方、行為等が分かり、安全に気を付けて行動する。【健10】 ・友達と力を合わせて遊びを展開し、作り上げていく楽しさに気付き、意欲をもって取り組もうとする。【健4】【人4・8】 ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の話聞いてその思いに気付いたりしながら、遊びを進めていこうとする。【人6・10】【言4】 ・自分たちの遊びや生活発表会に必要な大小道具を自分たちで準備し、遊びの場を整えようとする。【環8・9】 ・絵本や物語等の内容を自分の体験と結び付け、イメージを膨らませて楽しんだり、言葉への興味や関心を深めていったりする。【言8・9】 ・言葉の響きやリズムの楽しさ、新しい言葉の美しさに気付き、使おうとする。【言7】 ・感じたことや考えたことを自由にいかたりつくったりして表現し、認められる喜びを味わう。【表4】 ・劇遊びの役になりきって友達と一緒に演じたり歌ったりして表現する楽しさを味わう。【人7】【表6・8】 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年を振り返り、自分の成長に気付き、年長組になることを楽しみにする。【健1】 ・友達との関わりを深め、少しずつ相手の思っていることに気付き、喜びを共感しようとする。【人5・6・10】 ・行事を通して、異年齢児へあがりあうの気持ちを伝えたり、思いやりの気持ちをもちて接したりしようとする。【人10】 ・自然等の身近な事象に興味をもち、遊びに取り入れていく。【環3・4】 ・節分やひな祭りを通して、昔から伝わる文化に親しむ。【環6】 ・教師や友達の言葉や話に興味や関心をもちて聞いたり、自分なりの思いや考えをみんなの前で話したりする。【言1・2・4】 ・身の周りの人に挨拶をすることが出来る。【言6】 ・様々な素材を使って、かいたりつくったりして自分のイメージを表現する楽しさを味わう。【表7・8】

(3) 5歳児

領域 【健】…健康 【人】…人間関係 【環】…環境 【言】…言葉 【表】…表現

期	XI (4月~5月)	XII (6月~7月)	XIII (8月~10月)	XIV (11月~12月)	XV (1月~3月)
ね ら い	子供らしく、のびやかに、いきいきとした子	○年長児になった喜びを感じ、自覚をもって園生活を楽しむ。	○様々な素材を用いながら、イメージを膨らませて遊ぶことを楽しむ。	○豊かな感性をもってイメージを膨らませ、自分なりに表現して楽しむ。	○自分の成長を感じ、自信をもつ。
	自分で考え、行動し、責任をもとうとする子	○園の生活に見通しをもち、自分たちの力で行動しようとする。	○互いの思いや考えを伝え合っ、遊びを進めようとする。	○自分にできることを責任をもって行い、自己有用感をもつ。	○自分で考え、自分の力で行動することの充実感を味わう。
	まわりのすべてに心をかよわせて生活する子	○幼稚園のみんなのために自分のできることを考えたり、しようとしたりする。	○身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	○友達と力を出し合い、目当てをもって、一緒に活動することを楽しむ。	○友達と励まし合ったり、よさを認め合ったりして仲間意識を強める。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と誘い合い、戸外で伸び伸びと遊ぶ。【健3】 ・自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。【環8】【人2】 ・相手の思いや考えに気付き、受け止めようとしながら、自分たちの力で生活や遊びを進めていこうとする。【人2・6】 ・身近な動植物や野菜に親しみをもち、大切に育てようとする。【環5】 ・素材や材料の必要な数量を考えて使おうとする。【環7・9】 ・感じたり、考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する。【言2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りを清潔にし、給水や汗の始末の必要性に気付き、自ら行う。【健7・9】 ・遊びに必要な物や適した場を考え、自分たちで遊びを進めていこうとする。【人2】 ・自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを受け止めたりして折り合いをつけながら遊びを進めようとする。【人6】 ・ルールを守ると楽しく遊べることに気付き、自分の気持ちを調整しようとする。【人11】 ・みんなが気持ちよく使えるように共同の遊具や用具を大切に使う。【人12】【環7】 ・自然の大きさ、美しさを味わい、心を動かす。【環1】【表2】 ・自然や物の性質・仕組みに関心をもち、遊びに取り入れようとする。【環2・4】 ・動植物の生態に関心をもち、観察したり調べたりしながら育てる中で生命の尊さに気付く。【環5・8】 ・生活に関係の深い情報や施設、標識等に興味や関心をもつ。【環10・11】 ・人の話に注意を向けて聞き、それを踏まえて自分の考えを相手に分かるように話す。【言1・2・4】 ・様々な出来事の中で感動したことを伝え合い、イメージや言葉を豊かにする。【言8】【表2・3】 ・素材の性質や特徴を生かしながら、かいたりつくったりしたものを遊びに取り入れていく。【表5・7】 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きを調整しながら、いろいろな遊びを楽しむ。【健2】 ・自分なりに試したり工夫したりしながら、やり遂げた達成感を味わう。【人2・4】 ・友達と考えを伝え合い、一緒に遊びを進める中で、様々な感情を共感し合う。【人5】【言2・3】 ・自分の立場だけでなく、相手の立場からもよいことや悪いことを判断し、行動しようとする。【人9・10】 ・地域の人々等自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもって、挨拶をする。【人13・言6】 ・自分たちで育てた野菜を収穫したり、自分たちで調理して食べたりすることを通して、食の大切さに気付く。【環5・健5】 ・相手に何かを伝えるとき、文字や数字等が役立つことに気付き、使おうとする。【環9・10】【言10】 ・国旗に興味をもち、遊びに取り入れることで、世界に関心をもつ。【環12】 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気を予防することや身を守ることの大切さに関心をもち、必要な活動を自ら行う。【健9・10】 ・友達と力を合わせて遊びをつくり上げる充実感を味わう中で、自分や友達のよさに気付く。【人7・8】 ・友達との関わりを深め、思いやりをもつ。【人10】 ・遊びに適した道具や材料の特徴・性質を自分なりに比べたり、これまでに得た知識と関連付けたりしながら考え、試したり工夫したりして遊ぶ。【環8】 ・言葉の楽しさや相手を思いやる言葉の美しさに気付き、遊びや生活に生かそうとする。【言7】 ・絵本や物語等に興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。【言9】 ・自分たちのイメージを言葉や音・動き等で表現したり、かいたりつくったりする過程を楽しんだりすることを通して、イメージや言葉を豊かにする。【言8】【表4・7・8】 ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。【表6】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力で行うことの充実感を味わい、自信をもって行動する。【健1】【人2・3】 ・友達と共通の目的をもち、工夫したり協力したりして、諦めずに最後までやり遂げる達成感を味わう。【人4・8】 ・物や自然の性質を理解して、遊びに合った素材を選択していく。【環3・4・8】【表5】 ・昔からの行事や遊びを通して、我が国の文化や伝統に親しむ。【環6】 ・相手と心を通わせながら、言葉による伝え合いを楽しむ。【言1・4・5】 ・自分の表したいことを様々な方法で表現したり、他者の表現のよさに気付いたりして、表現することを楽しむ。【表6・7・8】